

江戸城大乱 (1991)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 113分
初公開日 1991/12/14

【解説】

徳川将軍五代目の座をめぐる跡目争いを豪快に描く時代劇。脚本は「陽炎」の高田宏治が執筆。監督は「必殺！5 黄金の血」の舛田利雄。撮影は「動天」の北坂清がそれぞれ担当。出演は松方弘樹、十朱幸代、坂上忍、三浦友和。

延宝8(1680)年の春。四代将軍の徳川家綱は虚弱体質で世継ぎも不在。江戸幕府の大老である酒井雅楽頭忠清は、時期将軍候補として家綱の次弟の綱重を擁立した。大方の賛同は得たものの、尾張当主の徳川光友だけは「将軍位継承の権利は御三家にもある」と異を唱えた。酒井には反感を持つ者も多く、三代将軍・家光の血を引く館林当主の綱吉もその1人であった。そんな中、堀田備中守正俊に綱重出迎えの大命が下る。ところが江戸への帰還中に綱重は何者かに殺されてしまい、先代家光の側室・桂昌院は実子の綱吉を五代将軍にと考えるのだが…。

【クレジット】

監督	舛田利雄	Toshio Masuda
製作	高岩淡 村上光一	
企画	日下部五朗 堀口壽一	
プロデューサー	本田達男 鎌田敏郎 妹尾啓太	
原案	桂木薫	
脚本	高田宏治	
撮影	北坂清	
美術	井川徳道	
編集	市田勇	
音楽	池辺晋一郎	
助監督	鈴木秀雄	
出演	松方弘樹 十朱幸代 坂上忍 三浦友和 池上季実子 野村真美 加藤武 神田正輝	酒井雅楽頭忠清 桂昌院 徳川綱吉 堀田備中守正俊

丹波哲郎 Tetsuro Tamba

金子信雄